

不二製油グループ本社（株） 決算補足資料

2023年度（2024年3月期）

- 第2四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1 : 注記 / 為替情報
3	1-1 : 2023年度 連結業績 2Q（3ヶ月）
4	1-2 : 2023年度 連結業績 2Q累計
5	1-3 : 2023年度 連結業績 2Q累計（事業別・所在地別マトリクス）
6	2-1 : 主な指標
7	3-1 : 2023年度 連結業績予想
8	3-2 : 2023年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

0-1 : 注記 / 為替情報

注記情報

一部子会社の決算期変更について

2022年度期末におきまして、下記のとおり子会社の決算期の変更を行いました。

INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITEDは12月末から3月末に、

Blommer Chocolate Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd. (ブラマー 上海) は1月末から3月末に

それぞれ変更しております。

なお、連結決算に与える影響は軽微なため、前期比などの数値の修正は行っておりません。

会社名	所在国	事業セグメント	エリア区分	2022年度の決算期間	2023年度の決算期間
INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITED	豪州	業務用チョコレート	東南アジア	2022年1月～ 2023年3月(15ヵ月)	2023年4月～ 2024年3月(12ヵ月)
Blommer Chocolate Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd. (ブラマー 上海)	中国	業務用チョコレート	中国	2022年2月～ 2023年3月(14ヵ月)	2023年4月～ 2024年3月(12ヵ月)

主な為替レート

・P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

		2022年度	2022年度	2023年度	対前期比		2023年度 予想前提
		2Q	期末	2Q	差	増減率	
\$	P/L	133.97	135.47	141.00	+7.03	+5.2%	142.70
	B/S	144.81	133.53	149.58	+16.05	+12.0%	-
BRL	P/L	26.35	26.28	28.70	+2.35	+8.9%	29.10
	B/S	26.79	26.29	29.87	+3.58	+13.6%	-
€	P/L	138.73	140.97	153.39	+14.66	+10.6%	155.70
	B/S	142.32	145.72	158.00	+12.28	+8.4%	-
人民元	P/L	19.88	19.75	19.75	▲ 0.13	▲ 0.7%	19.80
	B/S	20.37	19.42	20.46	+1.04	+5.4%	-

・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末（2022年度期末）を比較

・2023年度2Qのブラマーに適用した為替レート(\$)は、P/L 136.68、B/S 140.09

・予想前提P/Lレートは、2023年11月に見直した数値

1-1： 2023年度 連結業績 2Q（3ヶ月）

● 業績概要

売上高 1,400億円（前年同期比▲5億円）、営業利益 52億円（前年同期比+25億円）

売上高：業務用チョコレート事業での為替円安の影響及び、販売価格の上昇はあったが、植物性油脂事業でのフジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による販売数量の減少により減収。

営業利益：インフレによる固定費の増加や販売数量の減少はあったものの、価格改定等の効果により増益。

(単位：億円)

	FY2022 2Q実績	FY2023 2Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)	
売上高	植物性油脂	522	471	▲51	フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による販売数量の減少と、主原料であるパーム価格の下落により減収。
	業務用チョコレート	576	616	+40	為替円安の影響及び、原材料価格の上昇により増収。
	乳化・発酵素材	221	222	+1	販売数量の減少はあったものの、日本でのクリーム等の堅調な販売により増収。
	大豆加工素材	86	91	+5	円安による原材料価格上昇により増収。
	合計	1,405	1,400	▲5	
営業利益	植物性油脂	17	44	+27	日本、米州、欧州での原料価格安定による販売価格の適正化及び、フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による前年同期(営業損失)からの改善により増益。
	業務用チョコレート	17	3	▲14	日本での土産市場向け、冷菓向け、東南アジアでの冷菓向けの販売数量が増加したが、北米での販売数量の減少等により減益。
	乳化・発酵素材	▲2	9	+10	日本でのクリーム等の販売数量の増加及び、東南アジアや中国の採算性の改善により増益。
	大豆加工素材	4	6	+2	欧州新工場の稼働による減価償却費の増加があったが、日本での販売価格の適正化により増益。
	グループ管理費用等	▲9	▲9	▲0	
	合計	27	52	+25	
営業利益率	1.9%	3.7%	+1.8pt		
経常利益	20	50	+30		
親会社株主に帰属する四半期純利益	14	33	+19		

* 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-2： 2023年度 連結業績 2Q累計

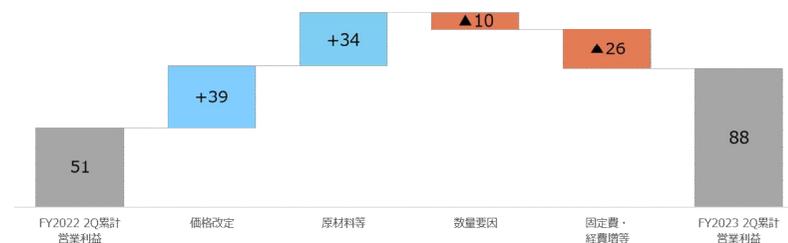
●業績概要

売上高 2,710億円（前年同期比+26億円）、営業利益 88億円（前年同期比+37億円）

売上高：植物性油脂事業でのフジオイルニューオリズの固定資産譲渡による販売数量の減少はあったものの、業務用チョコレート事業での為替円安の影響、及び販売価格の上昇により増収。
 営業利益：北米での業務用チョコレートの販売数量減少があったものの、日本、米州、欧州の植物性油脂事業の採算性の改善を主要因として増益。

営業利益増減分析

（単位：億円）



（単位：億円）

	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)	
売上高	植物性油脂	1,014	928	▲86	フジオイルニューオリズの固定資産譲渡による販売数量の減少と、主原料であるパーム価格の下落により減収。
	業務用チョコレート	1,055	1,166	+111	為替円安の影響及び、原材料価格の上昇により増収。
	乳化・発酵素材	446	436	▲10	東南アジアや中国での販売数量の減少等により減収。
	大豆加工素材	169	180	+11	円安による原材料価格上昇により増収。
	合計	2,684	2,710	+26	
営業利益	植物性油脂	33	75	+42	日本、米州、欧州での原料価格安定による適正価格販売及び、フジオイルニューオリズの固定資産譲渡による前年同期(営業損失)からの改善により増益。
	業務用チョコレート	26	7	▲20	日本での土産市場向け、冷菓向け、東南アジアでの冷菓向けの販売数量が増加したが、北米での販売数量の減少等により減益。
	乳化・発酵素材	0	14	+14	日本でのクリーム等の販売数量の増加及び、東南アジアや中国の採算性の改善により増益。
	大豆加工素材	9	10	+0	欧州新工場の稼働による減価償却費の増加があったが、日本での適正価格販売により増益。
	グループ管理費用等	▲19	▲18	+0	
合計	51	88	+37		
営業利益率	1.9%	3.2%	+1.4pt		
経常利益	54	83	+29		
親会社株主に帰属する四半期純利益	32	124	+91	フジオイルニューオリズの固定資産譲渡による特別利益により大幅増益。	

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-3 2023年度 連結業績 2Q累計 (事業別・所在地別マトリクス)

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2023 2Q	27,740	+1,321	33,347	▲6,737	11,560	▲5,366	1,748	▲24	18,392	+2,236	92,789	▲8,570
	FY2022 2Q	26,419	+6,433	40,084	+20,541	16,927	+7,861	1,772	+222	16,156	+4,617	101,360	+39,674
	FY2021 2Q	19,986	-	19,543	-	9,066	-	1,550	-	11,539	-	61,686	-
業務用チョコレート	FY2023 2Q	21,386	+2,020	77,818	+5,898	9,159	+1,420	3,400	+356	4,846	+1,410	116,611	+11,105
	FY2022 2Q	19,366	+1,165	71,920	+12,910	7,739	+2,223	3,043	+380	3,436	+1,220	105,505	+17,897
	FY2021 2Q	18,201	-	59,010	-	5,516	-	2,663	-	2,216	-	87,608	-
乳化・発酵素材	FY2023 2Q	28,313	+988	-	-	7,091	▲1,029	8,217	▲985	-	-	43,622	▲1,026
	FY2022 2Q	27,325	+2,507	-	-	8,120	+2,723	9,203	+1,755	-	-	44,648	+6,983
	FY2021 2Q	24,818	-	-	-	5,397	-	7,448	-	-	-	37,665	-
大豆加工素材	FY2023 2Q	17,546	+1,188	-	-	-	-	468	▲57	0	+0	18,014	+1,131
	FY2022 2Q	16,357	▲124	-	-	-	-	525	▲536	-	-	16,883	▲659
	FY2021 2Q	16,481	-	-	-	-	-	1,061	-	-	-	17,543	-
売上高計	FY2023 2Q	94,987	+5,518	111,165	▲839	27,811	▲4,975	13,834	▲710	23,239	+3,646	271,038	+2,639
	FY2022 2Q	89,468	+9,980	112,004	+33,451	32,787	+12,806	14,545	+1,821	19,593	+5,838	268,398	+63,895
	FY2021 2Q	79,488	-	78,553	-	19,981	-	12,724	-	13,755	-	204,503	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2023 2Q	2,833	+1,918	2,428	+2,568	630	▲1,715	3	+96	1,507	+978	133	+351	-	-	7,536	+4,198
	FY2022 2Q	915	▲952	▲140	▲1,017	2,346	+1,528	▲93	▲70	529	▲30	▲218	▲382	-	-	3,338	▲924
	FY2021 2Q	1,867	-	877	-	818	-	▲23	-	559	-	164	-	-	-	4,263	-
業務用チョコレート	FY2023 2Q	2,646	+322	▲2,900	▲2,921	575	+411	14	+81	325	+179	30	▲25	-	-	691	▲1,952
	FY2022 2Q	2,323	▲386	21	+118	164	+16	▲66	▲41	145	+96	56	+32	-	-	2,644	▲166
	FY2021 2Q	2,709	-	▲97	-	148	-	▲25	-	49	-	24	-	-	-	2,810	-
乳化・発酵素材	FY2023 2Q	1,385	+598	-	-	▲126	+520	184	+386	-	-	2	▲101	-	-	1,446	+1,403
	FY2022 2Q	787	+59	-	-	▲647	▲310	▲201	▲578	-	-	103	▲83	-	-	92	▲912
	FY2021 2Q	728	-	-	-	▲337	-	377	-	-	-	186	-	-	-	954	-
大豆加工素材	FY2023 2Q	1,197	+272	-	-	-	-	113	▲38	▲391	▲256	52	+58	-	-	972	+36
	FY2022 2Q	924	▲681	-	-	-	-	152	▲83	▲134	+3	▲6	▲56	-	-	935	▲817
	FY2021 2Q	1,605	-	-	-	-	-	235	-	▲137	-	50	-	-	-	1,753	-
連結調整	FY2023 2Q	67	▲24	▲11	▲7	21	+29	1	▲9	67	+139	▲150	▲115	-	-	▲4	+10
	FY2022 2Q	92	▲41	▲3	▲2	▲7	▲11	10	▲13	▲71	▲103	▲34	+158	-	-	▲14	▲14
	FY2021 2Q	133	-	▲1	-	4	-	23	-	32	-	▲192	-	-	-	-	-
グループ管理費用	FY2023 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,842	+38	▲1,842	+38
	FY2022 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,880	▲11	▲1,880	▲11
	FY2021 2Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1,869	-	▲1,869	-
営業利益計	FY2023 2Q	8,129	+3,086	▲484	▲360	1,102	▲753	317	+516	1,509	+1,041	68	+166	▲1,842	+38	8,800	+3,735
	FY2022 2Q	5,042	▲2,001	▲123	▲902	1,856	+1,222	▲199	▲787	468	▲35	▲98	▲331	▲1,880	▲11	5,065	▲2,848
	FY2021 2Q	7,043	-	779	-	634	-	588	-	503	-	233	-	▲1,869	-	7,913	-

2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	2021	2022	2023(累計実績)				2023 予想
						1Q	2Q	3Q	4Q	
PL項目	営業利益	億円		150	109	36	88			165
	営業利益成長率	%		▲16.2%	▲27.1%	+51.0%	+73.7%			+50.8%
	EBITDA	億円		324	312	86	189			365
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	173	215	36	70			-
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	127	146	36	72			-
	ROA	%	経常利益÷総資産	3.7%	2.2%	2.7%	3.4%			3.3%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	6.6%	3.1%	17.0%	11.4%			7.6%
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	2.7%	1.1%	6.9%	4.6%			2.9%
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.12	1.26	1.09	1.12			1.21
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.2	2.3	2.2	2.2			2.0
ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)	3.1%	2.0%	2.5%	3.0%			3.3%	
BS項目	総資産	億円		4,166	4,688	4,961	5,034			4,400
	有利子負債	億円		1,488	1,684	1,752	1,691			1,270
	NET有利子負債	億円		1,328	1,494	1,355	1,409			1,120
	NET運転資本	億円		805	819	1,173	1,235			-
	自己資本比率	%		44.7%	43.3%	45.2%	46.2%			50.1%
	負債比率	%		121.9%	127.1%	116.3%	111.6%			94.8%
	のれん(広義)	億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、 その他無形固定資産等を含んだもの	499	552	578	584			529
	のれん償却額	億円		22	26	7	13			26
	のれん(広義)純資産比率	%		26%	26%	25%	24%			23%
	D/Eレシオ	倍	有利子負債÷自己資本	0.80	0.83	0.78	0.73			0.58
Net D/Eレシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金) ÷株主資本	0.73	0.80	0.70	0.71			0.56	
CF項目	営業キャッシュフロー	億円		35	76	▲21	▲16			400
	投資キャッシュフロー	億円		▲188	▲165	198	164			20
	フリーキャッシュフロー	億円		▲153	▲89	177	148			420
	財務キャッシュフロー	億円		94	98	10	▲69			▲460
	CCC	日		115	104	122	117			98

*1 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示しております。

*2 FY2023.1Q、2QのROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

※主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2023	日本 製造設備向け等	23
2Q累計	米州 プラマ-設備投資等	13
	米州 ハラルド第2工場建設等	9
	計	70

株主還元

株主還元方針
・配当性向30-40%
・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2015	17	18	35	32.6%
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021	26	26	52	38.9%
2022	26	26	52	73.0%
2023 予想	26	26	52	28.0%

3-1： 2023年度 連結業績予想

●業績概要

売上高 5,500億円（前期比▲74億円）、営業利益 165億円（前期比+56億円）

売上高：為替円安の影響による押し上げ効果はあるものの、パームなどの原材料価格の安定した推移に加え、フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡により減収を計画。
 営業利益：業務用チョコレート事業の北米での販売数量の減少はあるものの、植物性油脂事業での原材料価格の安定した推移による採算性の改善やフジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による前年同期（営業損失）からの改善などにより増益を計画。

（単位：億円）

		FY2022 実績	FY2023 計画	前期比	FY2023 期初計画	増減要因(前期比)
売上高	植物性油脂	2,034	1,809	▲225	1,835	フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による販売数量の減少等により減収を計画。
	業務用チョコレート	2,285	2,434	+149	2,352	為替円安や、ブラジル、欧州での販売数量の増加等により増収を計画。
	乳化・発酵素材	912	888	▲24	953	日本での堅調な販売はあるものの、東南アジアでの販売数量の減少により減収を計画。
	大豆加工素材	343	369	+26	360	円安による原材料価格上昇により増収を計画。
	合計	5,574	5,500	▲74	5,500	
営業利益	植物性油脂	70	115	+45	85	前年度好調だった東南アジアの減益がある一方、米州、欧州、日本での採算性の改善により増益を計画。
	業務用チョコレート	50	55	+5	82	北米での販売数量の減少があるものの、ブラジル、欧州での販売数量の増加等により増益を計画。
	乳化・発酵素材	15	29	+14	31	日本でのクリーム等の伸長に加え、中国、東南アジアの採算性の改善により増益を計画。
	大豆加工素材	13	9	▲4	10	欧州新工場の稼働による減価償却費増加を見込み、減益を計画。
	グループ管理費用等	▲38	▲42	▲4	▲44	
合計	109	165	+56	165		
営業利益率		2.0%	3.0%	+1.0pt	3.0%	
経常利益		97	150	+53	150	
親会社株主に帰属する当期純利益		61	160	+99	160	フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による特別利益により大幅増益。

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

3-2 2023年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

売上高

（単位：百万円）

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2023 修正予想	55,800	▲632	66,000	▲13,217	22,000	▲8,858	3,100	▲274	34,000	+436	180,900	▲22,548
	2023 期初計画	56,700	+268	64,400	▲14,817	29,700	▲1,158	3,100	▲274	29,600	▲3,964	183,500	▲19,948
	2022 実績	56,432	-	79,217	-	30,858	-	3,374	-	33,564	-	203,448	-
業務用チョコレート	2023 修正予想	44,600	+2,352	163,000	+9,676	20,000	+1,832	6,600	▲867	9,200	+1,896	243,400	+14,887
	2023 期初計画	44,600	+2,352	155,800	+2,476	19,800	+1,632	7,100	▲367	7,900	+596	235,200	+6,687
	2022 実績	42,248	-	153,324	-	18,168	-	7,467	-	7,304	-	228,513	-
乳化・発酵素材	2023 修正予想	57,800	+103	-	-	13,500	▲2,571	17,500	+105	-	-	88,800	▲2,364
	2023 期初計画	58,700	+1,003	-	-	17,600	+1,529	19,000	+1,605	-	-	95,300	+4,136
	2022 実績	57,697	-	-	-	16,071	-	17,395	-	-	-	91,164	-
大豆加工素材	2023 修正予想	36,000	+2,752	-	-	-	-	899	▲136	1	+1	36,900	+2,616
	2023 期初計画	34,800	+1,552	-	-	-	-	1,100	+65	100	+100	36,000	+1,716
	2022 実績	33,248	-	-	-	-	-	1,035	-	-	-	34,284	-
売上高計	2023 修正予想	194,200	+4,573	229,000	▲3,542	55,500	▲9,597	28,099	▲1,174	43,201	+2,332	550,000	▲7,410
	2023 期初計画	194,800	+5,173	220,200	▲12,342	67,100	+2,003	30,300	+1,027	37,600	▲3,269	550,000	▲7,410
	2022 実績	189,627	-	232,542	-	65,097	-	29,273	-	40,869	-	557,410	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
			前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比		前期比
植物性油脂	2023 修正予想	4,408	+458	3,293	+4,231	1,814	▲1,145	▲157	+30	2,089	+706	27	+172	-	-	11,474	+4,453
	2023 期初計画	3,829	▲121	2,048	+2,986	1,623	▲1,336	▲227	▲40	1,231	▲152	28	+173	-	-	8,532	+1,511
	2022 実績	3,950	-	▲938	-	2,959	-	▲187	-	1,383	-	▲145	-	-	-	7,021	-
業務用チョコレート	2023 修正予想	5,137	▲492	▲1,269	+757	1,255	+373	▲197	▲235	503	+128	28	▲45	-	-	5,457	+484
	2023 期初計画	5,312	▲317	1,292	+3,318	1,392	+510	▲96	▲134	309	▲66	29	▲44	-	-	8,238	+3,265
	2022 実績	5,629	-	▲2,026	-	882	-	38	-	375	-	73	-	-	-	4,973	-
乳化・発酵素材	2023 修正予想	2,443	+280	-	-	38	+470	419	+604	-	-	32	+86	-	-	2,932	+1,442
	2023 期初計画	2,023	▲140	-	-	215	+647	786	+971	-	-	33	+87	-	-	3,058	+1,568
	2022 実績	2,163	-	-	-	▲432	-	▲185	-	-	-	▲54	-	-	-	1,490	-
大豆加工素材	2023 修正予想	1,249	▲97	-	-	-	-	363	+79	▲794	▲418	37	+15	-	-	855	▲422
	2023 期初計画	1,330	▲16	-	-	-	-	380	+96	▲724	▲348	40	+18	-	-	1,026	▲251
	2022 実績	1,346	-	-	-	-	-	284	-	▲376	-	22	-	-	-	1,277	-
連結調整	2023 修正予想	-	▲158	-	+8	-	+52	-	▲16	-	+133	-	+10	-	-	-	+30
	2023 期初計画	-	▲158	-	+8	-	+52	-	▲16	-	+133	-	+10	-	-	-	+30
	2022 実績	158	-	▲8	-	▲52	-	16	-	▲133	-	▲10	-	-	-	▲30	-
グループ管理費用	2023 修正予想	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,218	▲426	▲4,218	▲426
	2023 期初計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,355	▲563	▲4,355	▲563
	2022 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,792	-	▲3,792	-
営業利益計	2023 修正予想	13,237	▲10	2,024	+4,997	3,107	▲249	428	+461	1,798	+550	124	+238	▲4,218	▲426	16,500	+5,560
	2023 期初計画	12,494	▲753	3,341	+6,314	3,230	▲126	842	+875	817	▲431	130	+244	▲4,355	▲563	16,500	+5,560
	2022 実績	13,247	-	▲2,973	-	3,356	-	▲33	-	1,248	-	▲114	-	▲3,792	-	10,940	-

不二製油グループ本社（株） IR参考資料

2023年度（2024年3月期）

- 第2四半期 -

ページ	項目
9	表紙
10	FY2023 2Q Pickup：各エリアのマーケットの状況と販売動向
11	IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）
12	IR補足②：主要原料チャート（2023年10月末まで）
13	IR補足③：主なトピックス、ピックアップ

FY2023 2Q Pickup : 各エリアのマーケットの状況と販売動向

エリア	2Q（2023年7-9月）マーケット状況と販売動向
日本	業務用チョコレート ・人流回復により土産市場向けは堅調な推移。 ・冷菓向けの販売は回復傾向。
	乳化・発酵素材 ・人流回復により土産市場向けは回復し、量販店でのクリームofの堅調な販売も継続。 ・卵不足による一部商品にクリームへの置き換え需要は一巡。
	大豆加工素材 ・飲料向けの粉末状大豆たん白は前年同期比では増加。 ・粒状大豆たん白は外食での新規採用が進む。
米国	植物性油脂 ・コモディティ油脂等の需要は堅調に推移。一方で、チョコレートの消費減少の影響によりチョコレート用油脂の販売の改善は遅れる。
	業務用チョコレート(2Q:2023年5月-2023年7月) ・景況感悪化や金利上昇により、中間流通在庫の調整が続く。 ・チョコレートの販売数量は減少が続く。
ブラジル	業務用チョコレート ・第2四半期は閑散期にあたるが、販促が奏功し堅調に推移。
東南アジア	業務用チョコレート ・インドネシア、豪州でのアフターコロナによる人流回復により需要が回復傾向。
中国	乳化・発酵素材 ・景況感悪化の影響があるが、徐々に回復傾向。
欧州	業務用チョコレート ・アフターコロナによる人流回復により需要が堅調に推移。

IR補足①：主要製品群の販売数量推移（前年同期比）

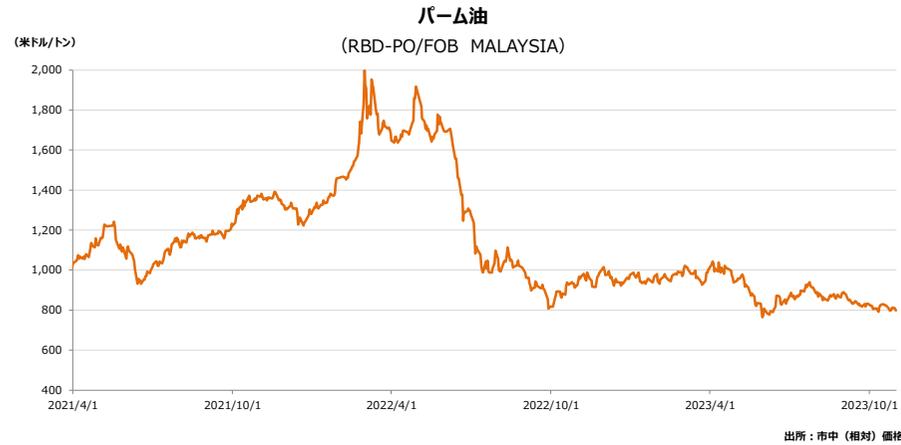
セグメント	エリア	製品群	2021年度 実績							2022年度 実績							2023年度 実績							2023年度 2Qポイント			
			1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	Total				
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂	96%	102%	99%	102%	98%	100%	100%	111%	106%	108%	91%	98%	94%	100%	92%	91%	91%							流通菓子向けの販売が減少。	
	米州		89%	112%	99%	100%	102%	101%	100%	113%	94%	103%	100%	77%	87%	96%	82%	91%	86%							顧客の引取遅れにより減少。	
	東南アジア		93%	98%	95%	96%	103%	99%	97%	107%	105%	106%	84%	88%	86%	95%	91%	87%	89%							流通菓子向けの販売が減少。	
	中国		72%	77%	75%	54%	63%	57%	66%	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3	-*3							
	欧州		180%	153%	164%	135%	104%	118%	137%	109%	70%	88%	69%	80%	75%	81%	84%	124%	102%								前年同期は顧客引取遅れ等で低調も、今期は回復傾向。
	合計		101%	110%	106%	102%	101%	102%	103%	108%	93%	100%	86%	85%	85%	92%	88%	96%	92%								
業務用チョコレート	日本	チョコレート (カカオ製品含む)	114%	106%	110%	104%	97%	101%	105%	98%	96%	97%	93%	95%	94%	96%	97%	101%	99%							土産市場向け堅調、冷蔵向けも2Qより回復傾向。	
	米州(ブラジル)		218%	123%	147%	102%	121%	111%	123%	112%	105%	108%	100%	102%	101%	104%	118%	110%	113%							外食向けの販売が堅調。	
	東南アジア		117%	110%	113%	106%	106%	106%	109%	105%	109%	107%	103%	112%	108%	107%	107%	109%	108%							冷蔵や製パン向けの販売が堅調。	
	中国		115%	83%	95%	106%	77%	93%	94%	77%	103%	91%	87%	110%	97%	94%	112%	76%	89%							景況感悪化により減少。	
	欧州		152%	125%	137%	152%	129%	139%	138%	120%	129%	125%	114%	111%	112%	118%	119%	106%	112%							土産・ギフト市場向けの販売が好調。	
	合計(プラマーを除く)		133%	112%	120%	106%	108%	107%	113%	104%	105%	104%	98%	103%	100%	102%	108%	104%	106%								
	プラマー		106%	108%	107%	96%	98%	96%	101%	95%	92%	94%	87%	94%	90%	92%	84%	89%	86%								消費の冷え込み等により減少。
	合計(プラマー含む)		116%	110%	113%	100%	103%	102%	107%	99%	98%	98%	93%	98%	96%	97%	95%	96%	96%								
乳化・発酵素材	日本	クリーム	119%	108%	113%	104%	102%	103%	108%	97%	106%	101%	104%	105%	104%	103%	108%	107%	107%							洋菓子向けの販売が堅調。	
		マーガリン ショートニング	102%	98%	100%	98%	91%	94%	97%	104%	106%	105%	101%	104%	103%	104%	100%	99%	99%							量目減影響を受けるも前年並み。	
	中国	クリーム	157%	72%	105%	79%	124%	97%	101%	84%	134%	105%	86%	94%	90%	98%	89%	74%	81%							東南アジア向けの販売が減少。	
		マーガリン ショートニング	118%	94%	105%	121%	117%	119%	112%	124%	80%	102%	73%	83%	77%	89%	73%	118%	90%							販促で販売数量が回復。	
		フィリング	144%	111%	126%	123%	115%	119%	122%	88%	92%	90%	87%	87%	87%	88%	94%	94%	94%							景況感悪化により減少。	
大豆加工素材	日本	大豆たん白素材	106%	103%	104%	102%	102%	102%	103%	96%	98%	97%	95%	92%	93%	95%	100%	97%	98%							中食向けの販売が減少。	
		大豆たん白食品	107%	96%	102%	100%	99%	99%	100%	105%	96%	101%	95%	94%	95%	98%	97%	91%	94%							給食、宅配需要向けの販売が減少。	
		機能剤	103%	99%	101%	99%	99%	99%	100%	87%	110%	97%	108%	120%	114%	104%	84%	86%	85%							飲料向けは堅調も、中食向けの販売が減少。	

*1: 製品区分の見直し等により、過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき記載しております。

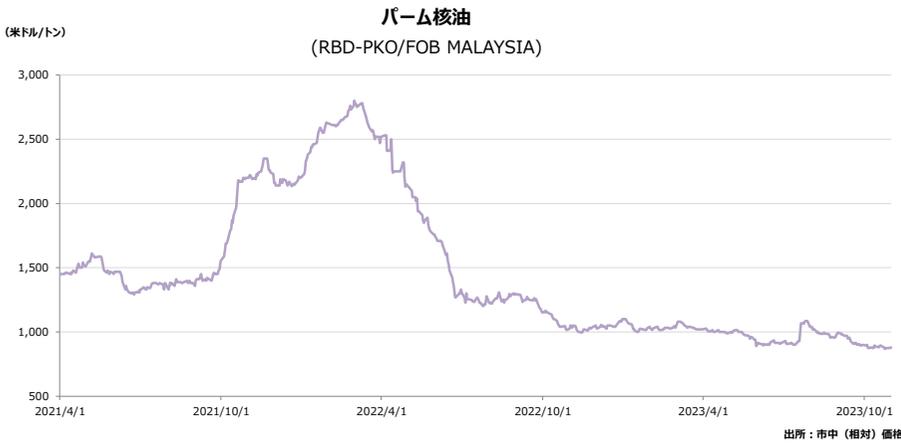
*2: 2022年度第4四半期に決算期変更した会社については、前年同月比と比較しております。

*3: チョコレート用油脂の中国について、数量僅少のため非開示。

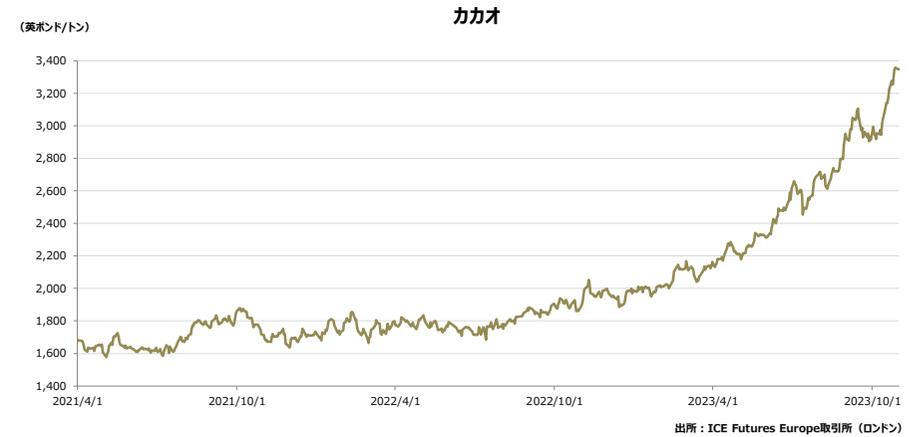
IR補足②：主要原料チャート（2023年10月末まで）



【市況】
 期近は増産期であり潤沢な在庫状況から価格競争力は限定的。
 強材料：エルニーニョによる減産懸念、中東情勢悪化による原油供給逼迫懸念。
 弱材料：中国、インドの潤沢な在庫、マレーシアの在庫増加。



【市況】
 天候懸念はあるが、安定生産と潤沢な在庫から価格は安定的に推移。
 強材料：エルニーニョによる減産懸念。
 弱材料：パーム核油在庫の増加。



【市況】
 アイボリーコースト着荷数量減少、ガーナ経済の先行き不透明による収穫不安、投機筋の積み上げ等で価格の上昇が継続。
 強材料：アイボリーコーストの着荷数量減少、天候要因による減産懸念。
 弱材料：ウクライナ情勢やインフレ、利上げによる需要減。欧州、北米、アジアにおける磨砕量の減少。



【市況】
 米国大豆作付の改善やブラジル大豆の順調な収穫から価格は下落。
 強材料：天候懸念による生産高の減少。米国での旺盛な搾油需要。中東情勢悪化による原油供給逼迫懸念。
 弱材料：ブラジル大豆の順調な収穫。中国における需要減少懸念。

IR補足③：主なトピックス、ピックアップ

●2023年度 主なトピックス（日付は当社WEBサイトでの公開日）

日付	Topics
2023.4.3	「不二製油グループ憲法」ビジョンを改定
2023.4.10	当社連結子会社の固定資産譲渡に関する契約締結のお知らせ
2023.4.24	トルコ・シリア地震の緊急支援について
2023.8.30	サステナビリティレポート2023を公開
2023.9.7	不二製油 健康白書2023発行
2023.9.8	植物性食品のおいしさ向上への官能評価の活用 -動物性・植物性とんこつ(風)スープのおいしさの違いを明らかに-
2023.9.8	統合報告書2023を公開
2023.9.29	統合報告書2023（英語版）を公開
2023.10.27	サステナビリティレポート2023（英語版、中国語版）を公開
2023.10.30	統合報告書2023（中国語版）を公開

●ピックアップ

統合報告書2023、サステナビリティレポート2023公開

統合報告書は、当社グループにおける事業の全体像及び中長期的な戦略を記載し、その内容についてステークホルダーの皆様と対話を重ねることで企業価値向上を図ることを目的として発行しています。

サステナビリティレポートは、ESG情報を補完するものとして、社会の持続可能性に与える影響に対する考え方や取り組みを記載しています。



MIRA-Dashi®C400 販売開始

不二製油株式会社は、MIRACORE®を活用した新たな植物性ダシ製品『MIRA-Dashi®C400』の販売を2023年9月から開始しました。MIRA-Dashi®C400は、動物性原料や香料を用いることなく、カツオダシのような風味を感じる点が特徴で、和食料理に限らず、魚介風味の料理に幅広くご利用できます。今後も、MIRACORE®を活用し、あらゆる料理ジャンルでの満足感を叶えるための活動を展開していきます。



Degas株式会社とのパートナーシップ契約

不二製油グループ本社株式会社は、シアカーネルのサステナブル調達を推進を目的として、Degas株式会社とパートナーシップ契約を締結いたしました。フジオイルガーナ社を通じて、ガーナ北部地域における農家の支援や、トレーサビリティシステムの導入、集荷や品質管理に関する技術指導により、シアカーネル調達の持続可能性と効率性を高めるための活動を展開していきます。

